

## 第3学年 外国語活動学習指導案

指導者 杉山 佳奈  
ALT カリーシャ・ヘンロン

### 1 単元名 「What do you like?」(Let's Try! I Unit5)

#### 2 単元について

##### ○教材観

本単元は、身の回りのものの言い方や、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、自分やクラスの友達の好きなものについて質問したり、質問に答えたりすることを主なねらいとしている。児童はUnit4で「色を表す英語」や「Do you like~?」「I like~.」(相手に好きなものを聞いたり、伝えたりする表現)を学習してきた。本単元では、さらに相手の好きなものは何かを尋ねる表現「What …do you like?」に、やり取りを通して慣れ親しませていく。やり取りを通して、知ることのできた「友達の好きなもの」を Who am I?クイズにして紹介する活動を、単元のゴールとして設定することで、目的意識を明確にしなが、児童が学習を進めることができると考える。

##### ○児童観

第3学年は、男子7名、女子6名、計13名である。本学級の児童は、低学年の頃から外国語に触れ、3年生での外国語活動を楽しみにしていた。外国語活動が始まり、「Hello song」や初めて話す外国語に対しても、主体的に取り組む姿が見られる。発音をよく聞き、すぐに外国語を発音することができる児童もいる。英語の授業以外でも、授業で学んだ簡単な英語(「Hello.」「Thank you.」など)を発する様子も見られる。一方で、学級内での外国語の理解度には差があるため、どのように支援していくかが今後の課題でもある。

4月におこなった外国語に対するアンケート調査の結果は以下の通りである。

男子7名 女子6名 計13名(アンケート回答者13名)

	質問事項	思う	どちらか というと 思う	あまり思 わない	思わな い
1	英語の勉強は好きですか。	13	0	0	0
2	英語の勉強は大切だと思いますか。	13	0	0	0
3	英語の授業で学習していることは、将来役に立つと思いますか。	12	1	0	0
4	外国のことについてもっと知り、日本やあなたが住む地域のことについて外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。	7	2	3	1

5	あなたは将来,積極的に英語を使うような生活をしたり,仕事をしたりしたいと思いますか。	7	2	3	1
6	授業では,英語を聞いて,どんな単語や内容を話されていたか,考える活動が行われていると思いますか。	7	6	0	0
7	授業では,英語で自分のことや相手のことをたずね合う活動が行われていると思いますか。	13	0	0	0
8	授業では,英語で自分のことや身の回りのことについて話す活動が行われていると思いますか。	1	9	3	0
9	単元の終わりに,授業で学んだことを使って,友達や先生と英語で話したり,自分のことを発表していると思いますか。	0	6	3	4
10	自分が英語を使って,何ができれば良いのか,目標がわかって英語の学習をしていると思いますか。	1	6	5	1
11	振り返りカードなどを書くことで,自分の学習を振り返ったり,次の学習でがんばりたいことを考えたりしていますか。	5	8	0	0

児童の意識調査の結果から,13人全員が英語を「好き」,英語は「大切」と答えており,前向きな気持ちで外国語活動に取り組んでいることがわかった。さらに「もっと知りたい」「もっと使いたい」という思いがあることもわかる。一方で,英語を使って話すことや目標を明確にして学習を進めることに,意識が低い児童もいた。

そして2学期に入り,9月に行った意識調査は次の通りである。 **[4月と比べて上昇した項目]**

	質問事項	思う	どちらか という 思う	あまり思 わない	思わな い
1	英語の勉強は好きですか。	10	3	0	0
2	英語の勉強は大切だと思いますか。	13	0	0	0
3	英語の授業で学習していることは,将来役に立つと思いますか。	12	1	0	0

4	外国のことについてもっと知り、日本やあなたが住む地域のことについて外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか。	5	8	0	0
5	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり、仕事をしたりしたいと思いますか。	4	6	3	0
6	授業では、英語を聞いて、どんな単語や内容を話されていたか、考える活動が行われていると思いますか。	8	5	0	0
7	授業では、英語で自分のことや相手のことをたずね合う活動が行われていると思いますか。	8	5	0	0
8	授業では、英語で自分のことや身の回りのことについて話す活動が行われていると思いますか。	9	4	0	0
9	単元の終わりに、授業で学んだことを使って、友達や先生と英語で話したり、自分のことを発表していると思いますか。	6	6	1	0
10	自分が英語を使って、何ができれば良いのか、目標がわかって英語の学習をしていると思いますか。	6	7	0	0
11	振り返りカードなどを書くことで、自分の学習を振り返ったり、次の学習でがんばりたいことを考えたりしていますか。	9	4	0	0

9月のアンケート結果から、外国語活動が始まってから半年が過ぎ、外国語に対する姿勢や認識が明確になってきていると感じた。特に8～11の質問事項についての回答は4月と比べ、大幅な上昇が見られ、児童の主体的な学びに深まりが表れている。その要因として、教師と児童、児童同士で外国語を使って会話したり、発表したりする機会を多く設けたことが挙げられる。今後も言語活動を取り入れながら、伝え合うことの楽しさを味わわせたい。

学びの振り返りについては、昨年度作成した「CHALLENGE シート」を活用して、自己評価を行っている。自分が何をできるようになったか、また次はどんなことをがんばりたいのかを記述する児童が多いことから、意欲をもって学習していることがわかる。その一方で、外国語活動は難しいと感じている児童も若干見られる。そこで、外国語が「好き」という児童の前向きな気持ちを、今後につなげていけるように授業内容も工夫していきたい。

## ○指導観

単元のゴールには、児童の伝えたい、知りたいという思いで展開される題材を設定し、そこに至る各段階で、児童の興味関心を高めるような学習活動を計画的に行っていく必要がある。そこで、本単元では、自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、好きなものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う活動を積み重ねていく。友達のことをもっとよく知るために、どんな質問をするのか、教師とのやり取りを基に児童が考え、インタビューにつなげていく。単元のゴールに、児童が思考しながらインタビューを重ね、得た情報を基に作成した「Who am I? クイズ」を行うことで、単元の言語活動につながりを持たせていきたい。

また、児童が質問を考える際のさまざまなカテゴリーを引き出す手立てとして、「秋といえばなんだろう?」という導入から始める。「〇〇の秋」というフレーズは、「食欲の秋」や「スポーツの秋」など、本単元の言語材料と結び付けやすく、児童が質問を考える際のヒントになると考える。

本時では、自分のことをよく知ってもらったり、友達のことをもっとよく知ったりするために、好きなものについて尋ねたり答えたりする活動を行う。児童がやり取りをする際に、既習表現も使いながら、伝え合うことができるように、単元を通して、Small Talk の時間を大事にしていく。Small Talk を積み重ねることで、「Nice!」「I see.」「Me,too.」といったレスポンス表現など、相手を意識したよりよい伝え方の工夫についても指導していきたい。

さらに、本時の目標を達成するために、中間指導にも重点を置く。中間指導では、今までに学んでいるカテゴリーの他にどんなカテゴリーがあるのか、児童がより深く考えられるように質問の内容について触れる。また、相手を意識した、よりよい伝え方の工夫についても取り上げ、児童に間違えても大丈夫という安心感を持たせながら、コミュニケーションを図ることの楽しさを味わわせたい。

### 【本単元に関わる主な言語教材】

#### 新出表現

What ~ do you like? I like~.

#### 新出語彙

what, color, スポーツ (sport, volleyball, table tennis,)

飲食物 (food, hamburger, pizza, spaghetti, steak, salad, cake, noodle, egg, rice ball, jam)

果物・野菜 (fruit, grapes, pineapple, peach, melon, banana, kiwi fruit, lemon)

#### 既出表現

挨拶 (Hello! , Hi! , How are you? I' m~)

I like~. Do you like~? Yes, I do. / No, I don't.

#### 既出語彙

色 (blue, red, green, yellow, pink, orange, black, purple, white, brown)

気持ち (fine, good, sleepy, tired, great, happy, hungry)

数 1~20 (one~twenty.)

### 3 校内研との関わり

今年度の校内研のテーマは「進んで学び 確かな学力をもつ児童の育成」、サブテーマは「英語で伝え合う力の育成を通して」である。新学習指導要領に改訂され、3年生以上で英語に関わる学習活動が計画的・体系的に行われるようになった中、昨年度より2年間、本校は小学校英語教育の向上を目指す「英語教育改善プラン推進事業」推進校として、外国語活動及び外国語について研究することとなった。グローバル社会に生きる児童に求められる英語による発信力向上を目指し、実際の目的・場面・状況に応じた英語を活用する課題を設定し、指導・評価するモデルを研究の中で考えていく。2年目の今年度は、昨年度作成した「CAN-DO リスト」や「CHALLENGE リスト」を活用しながら、授業を進めていく。目指す姿を最初に子どもと共有することで、ゴールを明確にする。

特に、言語活動や関わり合いを生かして考えを深める工夫として、課題に対する学びの必然性を児童にもたせることを意識している。どうしてその活動をするのか、なぜできるようになりたいのか、英語を使った活動に必然性をもたせることで、「英語を使いたい」、「もっと知りたい」といった意欲を高め、活発な言語活動につなげたい。

### 4 「CHALLENGE リスト」の形での学習到達目標(第3学年)

話すこと〔やり取り〕
自分やクラスの友達の好きなものについて質問したり、質問に答えたりすることができる。

※関係する領域別目標:話すこと〔やり取り〕ウ

### 5 単元の目標

自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、相手に伝わるように工夫しながら、好きなものについて、尋ねたり答えたりして伝え合う。

### 6 単元の評価規準

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
話すこと (やり取り)	身の回りのものの言い方を知り、友達の好きなものを尋ねたり、答えたりする表現を話すことに慣れ親しんでいる。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、身の回りのものの言い方を知り、友達と好きなものを尋ねたり、答えたりして、伝え合っている。	自分のことをよく知ってもらったり、相手のことをよく知ったりするために、身の回りのものの言い方を知り、友達と好きなものを尋ねたり、答えたりして、伝え合おうとしている。

7 単元の指導と評価の計画 (全4時間)

時	目標(◆) 主な活動(○) アクティビティ(・) 誌面化されている活動(□)	評 価			
		知 技	思 判 表	態 度	◎評価規準<評価方法>
1	<p>◆日本語と英語の音声の違いに気付くとともに、身の回りの物を表す言い方を知る。</p> <p>○「Hello song」 ○「3 Questions」天気・曜日・日付を答える。 〈Small Talk〉 *Small Talk リスト A を参照</p> <p>○誌面には何があるかな。Do you know anything? ・誌面にあるものなどを発表する。</p> <p>【Let's Play 1】おはじきゲーム p.18, 19 ・誌面の絵を3つほど選び、その上におはじき(消しゴム、鉛筆)を置く。担任が言った言葉の上におはじきがあれば、それを取れる。おはじきが早くなくなった人の勝ち。</p> <p>○1人に1枚カードを配る。黒板に貼った分類に合わせて、カードを貼り付ける。・それらが何のカードかを考えて発表する。</p> <p>【Activity】ALT と好きな食べ物について尋ね合う。 What food do you like? I like ~。(好きな食べ物は教科書の中から選ぶ。)</p> <p>【Let's Chant】What do you like? p.19 ○振り返りをする。</p>				<p>★本時では、目標に向けて指導は行すが、記録に残す評価は行わない。</p> <p>日本語と英語の音声の違いに気付いている。 〈行動観察〉</p> <p>レスポンスも意識させる。</p>
2	<p>◆身の周りのものの言い方や何が好きかを尋ねたり、答えたりする表現に慣れ親しむ。</p> <p>○「Hello song」 ○「3 Questions」天気・曜日・日付を答える。 〈Small Talk〉 *Small Talk リスト B を参照</p> <p>【Let's Listen】p.20 ・映像資料の音声を聞いて、それぞれの登場人物が好きなものを選んで線で結ぶ。</p>				

	<p>【Activity】友達の好きなものを尋ね合う。(教科書 P.20)</p> <p>【Let's Chant】What do you like? p.19 ・音声に合わせてチャンツをいう。 ○振り返りをする。</p>				
3 (本時)	<p>◆お互いをよく知るために、相手に伝わるように工夫しながら、好きなものについて、尋ねたり、答えたりして伝え合う。</p> <p>○「Hello song」 ○「3 Questions」天気・曜日・日付を答える。 〈Small Talk〉 *Small Talk リスト C を参照</p> <p>【Let's Chant】What do you like? p.19</p> <p>【Activity】友達と好きなものについて尋ね合う。</p> <p>○振り返りをする。</p>			○ ○	○何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。〈行動観察・ワークシート〉
4	<p>◆友達の好きなものをヒントに「Who am I?クイズ」を行う。</p> <p>○「Hello song」 ○「3 Questions」天気・曜日・日付を答える。 〈Small Talk〉 *Small Talk リスト D を参照</p> <p>【Let's Chant】What do you like? p.19</p> <p>【Activity】「Who am I?クイズ」を行う。 ・好きなものをきいて、それが誰なのかを考えて答える。</p> <p>○単元の振り返りをする。</p>			○	◎学習したことを活かし、友達と伝え合う活動をしている。〈行動観察〉

#### 8 本時の学習(3/4時間)

(1) 日時 10月24日(月) 5校時13:45~14:30

(2) 場所 3年教室

(3) 目標

お互いをよく知るために、相手に伝わるように工夫しながら、好きなものについて、尋ねたり、答えたりして伝え合う。

(4) 本時の展開

時間	児童の活動	指導者の活動 指導上の留意点	◎評価規準 (評価方法)
つかむ(15分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶をする。</li> <li>・天気、曜日、日にちの問いに答える。</li> <li>【Hello song】</li> <li>・音声に合わせて歌う。</li> <li>・Small Talk (リストC)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体で挨拶する。</li> <li>・Small Talk によって本時の活動の見通しをもたせる。</li> </ul>	
<p>Small Talk (リストC)</p> <p>HRT: 今までカリーシャ先生に色々質問したね。その情報を使って、カリーシャ先生クイズを作ってみよう。カリーシャ先生の好きな色は何かな？</p> <p>STU1: 黄色！</p> <p>STU2: Yellow!</p> <p>HRT: そうだったかな？もう一回確認してみよう。どうやって聞く？</p> <p>STU3: What …color…?</p> <p>STU4: わかった。What color do you like?</p> <p>HRT: That’s right. Let’s ask Kalesha sensei!</p> <p>STU: What color do you like?</p> <p>ALT: I like yellow.</p> <p>STU5: 当たった～！</p> <p>HRT: How about sport?</p> <p>STU: What sport do you like?</p> <p>ALT: I like jump rope.</p> <p>STU6: Me, too.</p> <p>HRT: クイズにする時は、I like yellow. I like jump rope. でいいかな？</p> <p>STU7: スポーツを一番にしたらどうかな？</p> <p>STU8: ほかにヒントがもっとあったらいいよ。</p> <p>HRT: Nice! ほかにカリーシャ先生の好きなものについて、どんなものが聞けるかな？</p> <p>STU9: Animal!</p> <p>STU10: 日本の食べ物とか…？</p> <p>HRT: Great! また活動の中で聞いてみよう。</p>			



	<p>Today's Goal</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達に好きなものについて、尋ねたり、答えたりして伝え合おう。</li> <li>・どのようなクイズなのか全員で確認する。</li> </ul>				
<p>深める(25分)</p>	<p>【Let's Chant】 What do you like? p.19</p> <p>【Activity2】P.21</p> <p>① インタビュー1回目(ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の好きなものを尋ね合い、答えをタブレットにメモする。</li> </ul> <p>&lt;想定される児童のやり取り例&gt;</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やり取りのデモンストレーションをALTと行う。</li> <li>・ペアは事前に決めておく。</li> </ul>	<p>◎何が好きかを尋ねたり答えたりして伝え合っている。(タブレット内のワークシート・行動観察)</p>		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;"> <p>S1 : Hello!</p> <p>S1 : What food do you like?</p> <p>S1 : Wow. Me, too.</p> <p>S1 : I like grapes.</p> <p>S1 : Thank you.</p> </td> <td style="width: 50%;"> <p>S2 : Hello!</p> <p>S2 : I like sushi.</p> <p>S2 : What fruit do you like?</p> <p>S2 : Thank you.</p> </td> </tr> </table>		<p>S1 : Hello!</p> <p>S1 : What food do you like?</p> <p>S1 : Wow. Me, too.</p> <p>S1 : I like grapes.</p> <p>S1 : Thank you.</p>	<p>S2 : Hello!</p> <p>S2 : I like sushi.</p> <p>S2 : What fruit do you like?</p> <p>S2 : Thank you.</p>	
<p>S1 : Hello!</p> <p>S1 : What food do you like?</p> <p>S1 : Wow. Me, too.</p> <p>S1 : I like grapes.</p> <p>S1 : Thank you.</p>	<p>S2 : Hello!</p> <p>S2 : I like sushi.</p> <p>S2 : What fruit do you like?</p> <p>S2 : Thank you.</p>				
	<p>中間指導:友達にもっとよく伝えられるようにするには、どうすればいいだろう。</p> <p>&lt;指導の観点&gt;</p> <p>1、ジェスチャー,リアクション</p> <p>2、レスポンス</p> <p>「Nice!」「I see.」「Me,too.」「Wow!」「Really?」「Great!」「Good.」「OK.」</p> <p>3、カテゴリーの共有</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・food 以外にどのようなカテゴリーについて尋ねるかを考える。(例えば animal,subject,music など)</li> <li>・ビデオでよいインタビューをしているペアの</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちでやり取りの工夫に気づかせるために、最初から多くのヒントは与えない。</li> <li>・活動の途中で、質問の仕方に工夫が見られた児童に、どういった質問をしたか全体で発表してもらう。</li> <li>・いろいろな質問の仕方に気づかせる。</li> </ul>			

	様子を全体で共有する。  ② インタビュー2回目		
振り返り (5分)	振り返り:ビデオでよいインタビューをしているペアの様子を全体で共有する。  ・クイズで発表してほしい順番をワークシートにふる。  ・振り返りを CHALLENGE シートに記入する。  ・挨拶をする。		

(5) 評価の具体

「話すこと(やり取り)」の思考力・判断力・表現力

A	B	C
相手の好きなものを知ったり自分の好きなものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら既習語句や表現を使って、尋ねたり答えたりしている。また、状況に応じた受け答えを行っている。	相手の好きなものを知ったり自分の好きなものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしている。	Bを満たしていない。

「話すこと[やり取り)」の主体的な学習に取り組む態度

A	B	C
相手の好きなものを知ったり自分の好きなものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとしている。また、状況に応じて受け答えを行おうとしている。	相手の好きなものを知ったり、自分の好きなものを伝えたりするために、相手に伝わるように工夫しながら尋ねたり答えたりしようとしている。	Bを満たしていない。

【評価 A の児童例】

S1 :Hello!

S2:Hello!

S1 :What food do you like?

S2:I like sushi.

S1 :Wow.Nice! What sport do you like?

S2:I like baseball.

S1 :Me, too.What animal do you like?

S2:I like dogs and cats.

S1 :Oh,I see.Thank you.

S2:Thank you.

【評価 B の児童例】

S1 :Hello!

S2:Hello!

S1 :What food do you like?

S2:I like sushi.

S1 :Wow. Me, too.

S2:What fruit do you like?

S1 :I like grapes.

S2:Thank you.

S1 :Thank you.

【評価 C の児童例】

S1 :What food do you like?

S2:I like sushi.

S1 :What sport do you like?

S2:I like baseball.

S1 :What animal do you like?

S2:I like dogs.

## Mutsuai 3<sup>rd</sup> grade unit5 Small Talk

### Lesson I (List A)

HRT: Let's play quiz!

STU1:どんなクイズかな？

HRT: This is "Who am I? Quiz".

カーリーシャ先生が睦合小の先生になりきっています。みんなは、カーリーシャ先生がだれになっているか当ててください。

HRT: What food do you like?

ALT: I like ramen. Who am I?

STU1:まだわかんない。

STU2:ヒントほしいな～!

HRT: You say, "Hint, please!"

STU: Hint, please!

ALT: Nice!

HRT: What color do you like?

ALT: I like blue. Who am I?

STU3:まだわからないね。

STU: Hint, please!

HRT: What sport do you like?

ALT: I like baseball.

STU4: わかった～!校長先生!

HRT: That's right.

(※もう1問続ける)

HRT: 先生たちのことをもっと知ることができてうれしいね。みんなもこの単元でクラスの友達にたくさんインタビューして、友達の新たな一面を見つけてみよう!

### ※クイズ例

What food do you like?

I like green peppers.

What color do you like?

I like red.

What animal do you like?

I like dogs.

## Lesson2 (List B)

HRT: 前回の授業では、カリーシャ先生の好きな食べ物を聞いてみたね。  
今回はスポーツについて聞いてみよう。

STU: What sport do you like?

ALT: I like jump rope. How about you? Do you like jump rope?

STU1: Yes, I do!

STU2: Me, too!

HRT: ほかにどんなことを聞いてみたい?

STU3: 好きな色!

HRT: OK. What...

STU4: Color!

HRT: Great! Let's ask Kalesha sensei!

STU: What color do you like?

ALT: I like yellow.

STU: I see.

ALT: What color do you like?

STU5: Blue.

ALT: Nice. (同様に続けていく)

### Lesson3 (List C)

HRT: 今までカリーシャ先生に色々質問したね。その情報を使って、カリーシャ先生クイズを作ってみよう。  
カリーシャ先生の好きな色は何かな？

STU1: 黄色!

STU2: Yellow!

HRT: そうだったかな?もう一回確認してみよう。どうやって聞く?

STU3: What ...color...?

STU4: わかった。What color do you like?

HRT: That's right. Let's ask Kalesha sensei!

STU: What color do you like?

ALT: I like yellow.

STU5: 当たった~!

HRT: How about sport?

STU: What sport do you like?

ALT: I like jump rope.

STU6: Me, too.

HRT: クイズにする時は、I like yellow. I like jump rope. でいいかな?

STU7: スポーツを一番にしたらどうか?

STU8: ほかにヒントがもっとあったらいいよ。

HRT: Nice! ほかにカリーシャ先生の好きなものについて、どんなものが聞けるかな?

STU9: Animal!

STU10: 日本の食べ物とか...?

HRT: Great! また活動の中で聞いてみよう。

## Lesson4 (List D)

HRT: Let's play Who am I quiz!

STU: Yeah!

HRT: 前回の授業で、友だちにたくさんインタビューしたね。みんなのインタビューシートがあります。

Kalesha sensei, please choose one.

ALT: OK. (ALT は、カードを確認する。)

HRT: (カテゴリーの絵を大型テレビに映しながら) What's this?

STU1: Food!

HRT: That's right! Let's ask Kalesha sensei about food.

STU: What food do you like?

ALT: I like sushi. (カードに書かれているものを答える) Who am I?

HRT: Do you understand? Anyone?

STU2: まだわからないよ～。Hint, please!

HRT: I see. (カテゴリーの絵を大型テレビに2つめのカテゴリーの絵を移しながら)

What's this?

STU3: Color!

HRT: That's right. Let's ask!

STU: What color do you like?

ALT: I like red.

STU4: たぶん A さんかな?

ALT: That's right!